学校番号	3037

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）数学記述演習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	メジアン　数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベクトル〕　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

既習済みの理数数学Ⅰ Ⅱの内容についての発展的な問題演習を行います。その際、ペアワークやグループワークも取り入れ、他者と協力しながら問題を解いてもらい、発表してもらうこともあります。デジタル教材を使用します。しっかりと活用しましょう。
・家庭学習における課題を定期的に提出してもらいます。計画的な学習習慣を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
既習済みの理数数学Ⅰ Ⅱの内容について、発展的な知識を身に付け、技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
事象を多角的、複合的に捉え、数学的に考察し、表現する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
数学に関する事象や課題に向き合うことで、他者と共同しながら課題の解決に積極的に挑戦しようとする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学的活動を通し、理数数学Ⅰ Ⅱの内容において、発展的な知識を身につけている。また、事象を数学的に考察し、表現・処理する仕方や推論の技能を身につけ、的確に問題を解決できる。	数学的活動を通して、理数数学Ⅰ Ⅱの内容において、事象を多角的、複合的に捉え、数学的に考察し、表現できる。	数学的活動を通して、理数数学Ⅰ Ⅱの内容における考え方に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを進んで活用しようとする。また、自分自身の学習についての振り返りを行い、評価・改善をしようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期 二学期 三学期	理数数学ⅠⅡ	理数数学ⅠⅡについての総合演習	a:基本的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、事象を表現・処理する技能を身につけている。 b:事象の考察や表現をし、その過程を振り返ることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c:学習内容に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト 提出課題	定期考査 小テスト 提出課題	提出課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度